

古野まほろ

アンテルヴェ 質疑応答集

宇山日出臣、有栖川有栖両氏の推薦による衝撃的なデビューから早くも20ヶ月。その間に5つの長編と3つの短編を発表。豪華絢爛な大伽藍である「天帝」シリーズ、コンパクトな中にインパクトのある「探偵小説」の両シリーズを軸に淫祠邪教の徒を猛烈な勢いで増やし続ける古野まほろさんにお話を伺うことができました。

多くの謎のヴェールに包まれた覆面作家・古野まほろさんの秘密の一端をこのインタビュー中で見つけていただけたら幸いです。

古野まほろをとくにご覧じろ！ はふう。

目次

序章	1 美酒少し海へ
第一章	2 いと深きものの姿
	3 薔薇いろの煙
休憩1	
第二章	1 マホロランドへの誘い
	2 翔び立つ後継者
	3 ザ・テンテイ・マーダー
休憩2	
第三章	1 好奇心の創り出すお楽しみ
	2 物見高い御見物衆
	3 人間との約束
休憩3	
第四章	1 天帝に捧げる果物
	2 この世ならぬ美
	3 他人の心の中に
終章	

序章

本日は当筑波大学探偵小説研究会の会誌をお読み頂き、誠に有り難う御座います。

探偵小説作家・古野まほろ氏への質疑応答に先立ちまして、読者の皆様にご案内申し上げます。

古野まほろ氏の作品は講談社文芸第三出版部の規定に基づき、講談社ノベルスであつて、左の一覧に挙げられるものとされておりまして。

- 一 天帝のはしたなき果実
- 二 天帝のつかわせる御矢
- 三 天帝の愛でたまう孤島
- 四 探偵小説のためのエチュード
- 五 探偵小説のためのヴァリエーション

それでは質疑応答集の開始です。天帝と探偵小説のための道化芝居、どうぞ、ご堪能下さい。

— 開幕鈴 —

第一章

1 美酒少し海へ

—— それではこれからインタビューを始めさせて頂きます。まずは筑波大ミス研での自己紹介の通例に準じて、古野まほろさんの好きなミステリ作品と作家から教えて下さい。

古野 無人島へ持ってゆくなどのため、便宜的に十を限りとすれば……『月光ゲーム』が別格で、あとは順不同に『学生街の殺人』『匣の中の失楽』『虚無への供物』『黒死館殺人事件』『星降り山荘の殺人』『彼女が死んだ夜』『密閉教室』『邪悪の家』『Yの悲劇』『第二ファウンデーション』ですね。そして、これらを著された諸先達を、若干の例外を除いて尊敬しています。なお、作家さんの重複を避けた時の十作品です。

—— いわゆる四大ミステリはほとんど入っているんですね。それらの十作品の中で『星降り山荘の殺人』だけちょっと意外な感じがします。

古野 本格らしさを端正にまとめた作品だと思つています。他の作品と並べても全く遜

色のないパズラーかと。

—— では次の質問ですが、好きな探偵役はいますか。

古野 探偵は一般論として嫌いです。なのでぱつと浮かびませんが、必死に考えたら……セルジ・レニーヌ公爵くらいでしょうか。

—— どうして探偵役が嫌いなのでしょうか。

古野 一般論としてですが、その倫理的基盤が極めて疑わしく、また実際のにも有能・有益とは言い難いから……だと思ひます。倫理的基盤というのは、事件に介入することについてのそれで、実際に云々というのは、未然防止に全然役に立たないから。

—— 基本的に探偵役が嫌いな中、セルジ・レニーヌ公爵のどの辺りが好きなのでしょう？

古野 探偵というもののいかがわしさに自覚的などころ、ある種の古典的な騎士道を体現しているところ、その物語自体がとてもフランス風にエレガントであるところ……等です。

—— ああ、そういうことなんです。未読なので今度読んでみたいと思ひます。それでは次に、好きな犯人を教えてください。

古野 『バイバイ、エンジェル』に係る犯人が好きです。

—— その人物のどの辺りが好きなんでしょう。思想的に好きなんですか。ネタバレにならない程度でいいので教えていただければ……。

古野 徹底的なところ。私……一人称は「私」を使わせてもらいますね……の作品に登場するあのひともきつと見做ってます。

—— それではミステリ以外で影響を受けた作家や作品はありますか？

古野 とても掲げきれませんが、特に強い影響という縛りかけるとなら夏目漱石、メルロ＝ポンティです。あと『Zガンダム』と『エヴァンゲリオン』は重奏低音ですが、これは自明ですね。

2 いと深きものの姿

—— “古野まほろ”がペンネームであればその由来を教えてくださいののですが。

古野 もとよりペンです。伝統・保守といった概念をやわらかく表現する文字・言葉を探しました。また憧れていたひとにも起因します。ちなみに「まほろ」は「ま」にアクセン

トが付きますので、ご参考まで……。

—— 憧れていたひと、ですか。

古野 素敵な名だなぁと思って。

—— ペンネームと誕生日のみで顔もプロフィールも出さず、覆面になっている理由は何かですか。

古野 作者である古野まほろの顔や履歴や性別は、その小説のクオリティに関係がないからです。また私の履歴は一般的には特異なものらしいので、それに基づく好意や偏見を予断として持つて頂きたいからというのもあります。あと誕生日は“作家古野まほろ”が生まれた日ですので、念のため。

—— では、これからも覆面のままで……？

古野 とある事情が解消されるなら、どうしても隠したいほどのものではありません。でもそんなに知りたい人、いますかね……。

—— 古野さんの作中人物は紅茶や吹奏楽、歌留多など、多種多様な趣味をもっています。が、もともと古野さんの趣味だったものがありますか？

古野 私は無趣味です。何も自信のあるものがないので……。

—— サークルとかクラブには入っていないかったんでしょうか。

古野 ああ、吹奏楽ならずつとやってました。意外に水泳部だったことも。ただ趣味というのとは、ちよつと、違うかなあ。

—— ちなみに大学時代、第二外国語は何でしたか？

古野 仏語です。

—— ああ、やっぱりそうなんです。ところで、いくつも新人賞がある中で、メフィスト賞に送った理由はどうしてですか。

古野 枚数制限がなかったからです。講談社さんすみません。

3 薔薇いろの煙

—— 小説を書く際、トリックや謎などから考え始めるのでしょうか。それともシリーズや物語の展開の方を優先して考えるのでしょうか。

古野 物語としての流れと、犯人を特定するための条件だけを考えます。そのための文章的な詐術は大切だと思いますが、トリックそのものにはほとんど興味がありません。特に「ワントリック・ワンノベル」「ワンアイデア・ワンノベル」の類だけは忌避しようと心掛けています。

——二〇〇七年一月のデビューから一年半で五冊、平均すると四ヶ月弱で一冊出して、非常にハイペースな執筆だと思っただけですが、どのようにしてそのペースを保っているのでしょうか。

古野 実は職業病で、ブラインドタッチが通常の三倍なんです。

——心なしか、古野さんの姿が赤いような気がしてきました(笑)

休憩 1

—— 作中に出てくる「うげら」、「はふう」などの独特な言葉遣いはどうやって考えているのですか？

古野 平素から、小説を書き始める前から用いています。まったく想定外の反響があったので、かえってびっくりしました。ちなみに「はふう」の「う」は全角です。御参考まで。

第二章

1 マホロランドへの誘い

—— 天帝シリーズの世界を今の現実とは異なる特殊な時代設定にした理由は何でしょうか。

古野 本格探偵小説発祥の経緯から、王室、貴族、伝統社会、旧植民地、比較的信頼されている警察組織——等の英国的なガジェットが舞台装置として有効と考えるからです。例えば軍人・貴族の出てこないホームズ・シリーズ、ポワロ・シリーズは芳醇さが激減すると思うのですが、どうでしょうか。

—— 言われてみれば確かにそうかもしれない。

古野 そのような舞台装置を導入するため、昭和戦前期の日本の姿をほぼそのまま世界中の前提としています。ただそこに政治的意図はありません。遊技を政治性で穢すのは美しくないからです。

—— というと？

古野 私は本格探偵小説というものを伝統芸能であり遊戯であると考えていますので、これに藉口してイデオロギーを訴えたり、何

がしかの社会批判をする気にはなれないという事です。そのような生臭さは嫌いです。

—— 『十角館の殺人』の登場人物であるエラリーもミステリは知的な遊びと主張していますよね。そのような趣味志向は新本格の基本的なところにあるのかもしれませんが。

古野 また、いうまでもないことですが、立憲君主制と帝国主義は全くの別物ですが、軍国主義と本格探偵小説は本質的に相容れないものだと考えています。本格探偵小説は手続的正義を淫猥に語るものだからです。

—— 一番初めに書かれた作品であるはずの『果実』には後の作品や短編作品を想定したように見える設定がいろいろ見受けられるのですが、どこまで意識的に書いているのでしょうか。

古野 天帝のシリーズ化は、全くの想定外でした。『果実』は本来、自分の救済のために書いたので……。

2 翔び立つ後継者

—— 『孤島』の作者の言葉にある三部作、勅許、後継者の意味は何でしょうか？

古野 「三部作」というのは一般名詞で、どの具体的な三部作を指すものでもありません。したがって例えば『果実』『御矢』『孤島』を指すという解釈があるのならそれは誤解です。天帝シリーズが三部作を予定していたということもありません。それならば祭具の数は三だったでしょう。

——なるほど。

古野 ただ『御矢』の原稿依頼を受けたとき、それならば少なくとも三冊は書きたい、そうすれば理想とするシリーズの現状と同じになる……そのように思ったのです。そうした願いがいれば二重の意味で「終わりました」ので、とてもうれしかった。あれはそういう意味で書きました。

——今、ようやくわかりました。六日前、とは『孤島』発行の六日前という意味だったんですね。

古野 まさしく。「勅許」というのは私の書くものが本格であり、そのような本格を書き続けてよいといういわば赦しです。私はせいぜい初段くらいですが……したがって当該赦しの主体は、私にとってそういう権能をお持ちの存在ということになります。また「後継者」の意義は、「勅許」のそれから推して

頂ければと思います。

——それでようやく、あの言葉の意味に納得しました。では、勅許を得た古野さんが書いていこうと考える……理想としている探偵小説とはどんなものでしょうか。

古野 先に言ったことと重なりますが、まず伝統を踏まえてロジカルなもの、フェアなもの。前衛的で新しい風を感じるもの。そして社会的には全く無用な知的刺激を受けられるもの……です。

3 ザ・テンテイ・マードー

——いずれ祭具はすべて登場するのか、とか揃ったかどうか。それと幕間で描かれる病室や殿上人の会話と本編との関係についてお聞きしたいのですが。

古野 設定は何となくできています。楽しんでお待ち頂ければうれしいです。

——それから多少ストーリーに触れてしまいますが、『御矢』後の二条さんは今後の作品に登場してくるのでしょうか。

古野 登場します。

——それは非常にうれしいですね。

古野 そうですか？ ただ確かに……全く

の余談ながら青春小説においては、若者がわずかでも成長した（と自分で思った）ことが大切で、その成長のためには「しつかりした大人」の存在が不可欠だと思っています。二条はおそらくそのひとりでしょう。

——シリーズのヒロインである由香里ちゃんや修野嬢、詩織さんは映像化するなら誰のイメージですか？

古野 由香里についてはゴツボ×リュウジさんによるラフのうちの一……『デコ』と記載のあるものが素敵すぎて、私のなかのイメージがそれに駆逐されてしまいました。

——そのラフは本に使われていないんですよね？ 見てみたいんですが……ちよっと残念です。

古野 全く同感です。詩織については実在の人物をモデルにしており、それ以外の容姿は考えられません。

——詩織さんにモデルがいた、というのは『果実』が私小説として書かれたことの名残なんでしょうか。

古野 名残というか、そのものですね。極論、読み手は私ともうひとりだけのつもりだったのですが、いろいろあって賞を頂くことになりました……あ、映像イメージの話でしたね。ま

りですか。まりについてはモデルがなく、いつも困っていたのですが、最近街で見掛けた『匿名通報ダイヤル』のポスターのおんなのこを見たとき、ああこれはまりだなと感じました。

—— どうやら、多部未華子さんという女優のようですね（↑後日調査）。では、次に移ります。『御矢』の段階で〈感染〉は順調に進んでいるようですが、世界は大丈夫でしょうか？

古野 個人的には由香里の方に頑張っしてほしいと思います。さみしい彼女に。

—— 天帝とはどんな存在なんでしょうか。物語の支配者であるとか人類の創造主だとか想像しているんですが。

古野 そろそろやや具体的な態様で登場すると思います。まだ伏線段階ですが……。

—— 正体が明らかになる日が楽しみです。ね。天帝シリーズがいずれ完結するとして、ラストのイメージはお持ちですか？

古野 漠然と……ただ私、すごく気紛れな面があるので、今日明日のレベルでもどんどん変わってしまうのです。

休憩 2

—— これは僕が考えたことではなく、とある女性会員が発した質問である、とあらかじめ強調しておきます。その前提の上で、まほろと柏木が結ばれて欲しいのですが、可能性はありますか？

古野 個人的にはまほろに頑張っしてほしいと思っています。ただ柏木のモデルの性格からすれば、情勢はかなり厳しいです。はふう。

第三章

1 好奇心の創り出すお楽しみ

—— 天帝シリーズの裏側を探偵小説シリーズで描こうと思った理由はなんなのでしょうか。

古野 スピンオフが好きだからです。本編を書いていても、ついつい助演者主演の話を考えてしまう癖があり……まして彼女を本編だけに置いておくことができませんでした。

—— だから、書く予定はないのに、『果実』の時点でいろいろな設定や記述があったわ

けですね。では、探偵小説シリーズのイラストがゴツボ×リュウジさんになったのはどうしてなのでしょう。編集者の意向ですか？

古野 担当の方に御紹介いただいたのですが、ラフを拝見したとき、自分のなかでとても納得できたからです。ただ私の側の注目が複雑怪奇なので、とても御迷惑をお掛けしているところです。

—— 天帝シリーズとの違いを出すという意味で、ゴツボ×リュウジさんのイラストはぴったりだと思います。

古野 これからも天帝はウスダヒロさん、探偵小説はゴツボ×リュウジさんでお願いしたいと思っています。

2 物見高い御見物衆

—— 小諸るいかの名前は古野さんの好きな作品のラストから取られているのではと思っっているのですが、どうして彼女のような人物を探偵役として設定したのでしょうか。

古野 そうなんです!! ソレイユのマッチなんです!! だから小諸。解っていただけるととてもうれしい……。ええと、るいかの話

でしたね。悪逆だからです。いちばん悪い。

—— 同じ世界に存在する両シリーズの主人公、貧乳娘とエロコアラはいずれ直接会うことはあるのでしょうか。

古野 考えていませんでしたが、会えば面白いですね。持ち帰って前向きに検討します。

—— 一つの日か、二人が出会う日を楽しみにしています。それから、完全に好奇心丸出しの質問なのですが、あかねがコモに”よりまし”と呼ばれるシーンがありますか、”よりまし”とはなんなのでしょう。

古野 祭具のよりましです。鍵、とでも言いますか……。

—— 天帝シリーズでも出てきていますし、以降の展開の鍵を握る存在なんでしょうね。それと、ちよつと気になっていることがあるのですが、探偵小説シリーズは「水剋火」から「火剋金」までの全五作で終わってしまうのでしょうか。

古野 資本主義の論理によって決まります。

—— ということは、相剋だけで終わらず、相生までシリーズが続く可能性もある、というわけですね。

古野 講談社さんにその声を届けてくださいます。

3 人間との約束

—— 天帝シリーズと探偵小説シリーズとで作品の方向性はどの様に違っていると考えていますか？

古野 天帝は黒い水脈を指向しています。探偵小説はコロンボを指向しています。

—— 『黒死館殺人事件』や『ドグラ・マグラ』などの奇書に連なるのが天帝シリーズで、誰にでもわかる面白さを出すのが探偵小説シリーズというわけですか。

古野 うーん、誰にでも解るかというところ、かなり絶望的ですが……そうですね、やはり天帝では徹底的にやりたいことをやっており、畢竟理解を求めている面がありますが、探偵小説ではある程度自分に枷をはめて、より平易でコンパクトな私たちを採ろうと心掛けています……といえるのでしょうか。

—— 探偵小説シリーズは天帝シリーズに比べて装飾的なものがあまりない分、探偵小説の核となる部分がいい意味で表面に現れていると思います。

古野 また天帝では『装飾的／特殊なクロード・サークル』を、探偵小説では『ゲスター・スターとの対決』を重視しているといえる

かも知れません。ただ、私が追及しているテーマと様式は共通です。テーマとしては『ひとは解りあえるのか』という、尊敬すべき先達が追及してきたもの。様式としては本格探偵小説という伝統芸能性。

—— そのテーマは作中に出てくる祭具の一つにも現れていますね。

古野 そのとおりです。あと実現できているかどうかは解りませんが、どちらも『何回再読しても新たな発見がある』ことを目指しています。

休憩 2

—— 登場人物の古野まほると、作者の古野まほろさんの間で共通点や、異なる点があれば教えてください。

古野 共通点は、名前。異なる点は次元でしようか。そういう質問ではないとか？

第四章

1 天帝に捧げる果物

—— 天帝シリーズ及び探偵小説シリーズに続く新しいシリーズを書く予定はありますか？

古野 以前の担当の方から打診されたことはあります。ジャンル指定で。

—— そういうこともあるんですね。

古野 そのお話を伺ったとき、私としては『世界設定は天帝と同じだか、ジャンルは御指定どおりの○○小説』という構想を立てました。主人公も決まりました。物理的には書けるでしょう。むしろ書きやすい。ただ世界の都合というか、それができない実際的な理由があります。あとは読者の方々がどれだけ応援してくれるかによるでしょう。

—— もちろん僕としてはできる限り応援していきたいと思えます。それで、現在、四作目の『天帝のみぎわなる鳳翔』と五作目の『天帝のやどりなれ華館』が予告されていますが、天帝シリーズは今後何作くらい続いくのでしょうか。

古野 少なくとも祭具の数+1。

—— ということは、八冊ですね。

古野 ただビジネスとして成立しなくなればその時点で駆逐されます。私が書きたいと思うことと、関係者が生活してゆけるということは全くの別論ですから。

2 この世ならぬ美

—— 「メフィスト」誌上では現時点で三作の短編を発表していますが、長編と比べて書くのに苦労した点や、工夫した点などはありますか。

古野 短いのは大の苦手です。これは性格的なものです。もつと精進してゆかなければと思います。特に辛いのは、書いたものを削ること。身を切るように辛い……。

—— それらの短編はいずれ短編集としてまとまるのでしょうか。

古野 まとまります。また普通の短編集では付加価値がさほどありませんので、天帝シリーズの世界設定に係る資料をつけてみるかも知れませんが、権利者の方等のお許しがあれば、一般的にも資料価値が高いであろうとある直筆メモを収録してみるのもよいかも知れません。

—— 権利者が古野さんではない資料……

ですか。ちよつと想像できないんですが、それが短編集に掲載されるのを楽しみにしています。

古野 ちなみに次の短編の主人公は、ハマーンストの彼女です。

—— おお、そうなんですか。古野さんの作品にはいろいろなジャンルの要素が含まれていると思いますが、ミステリ以外のジャンルで特に書いてみたいと思うようなものはありますか。

古野 本格探偵小説だけで必死です。ただ本格的なかでは、例えば戯曲スタイルのものなどおもしろいかなあと思っています。文化祭でできそうな。

—— それは楽しみですね……というか、もし書かれたとしたら大学の学園祭あたりで上演してみたいです。

3 他人の心の中に

—— それでは、ミステリに限らず大学生のうち読んでおいたほうがいいと思う本があれば、教えていただけますか。

古野 漱石、司馬遼太郎、朔太郎、シェイク

スピア、式瓶勉。余裕があれば福田恒存。古
今もいいですね。

—— 漱石と司馬遼太郎を数冊しか読んだ
ことが……少し本屋に行ったら興味を向け
てみようと思います。それと、さきほど聞い
たことと似ているんですが、純文学など、他
のジャンルにはない探偵小説だけが持つて
いる魅力はなんであるとお考えですか？

古野 型式と前衛と寝言の最適化。すごくト
ラディショナルで、アヴァンギャルドで、ペ
ダンティックなところ。

—— それらの魅力は古野さんの作品中で
うまく現れていると思います。そして、とう
とうこれでインタビューも最後となつてし
まうのですが、昨年の「本格ミステリベスト
10」の読者投票で『果実』『御矢』『孤島』
と、当時発表していた全作品がベスト20にラ
ンクインしました。もしよければ感想をどう
ぞ。

古野 ネット投票の部門ですね。うれしいで
す。とても。ただ、大切なことは継続してゆ
くこと、そしていつも最新作がベストである
ことだと考えています。そういう意味ではプ
レシジャーを感じます。

—— 僕は『孤島』に投票したのですが……

失礼ながら三作品全部がランク入りすると
は思っていなかったもので、ランキングを見て
驚き&喜んだ記憶があります。

古野 栄子なら「時代は確実に動いている」
「世のなか捨てたものではないぞ」とほくそ
笑むでしょう。まほろなら「こんな僕で、い
いのかな……」とかいいそうですね。

—— そういう台詞を聞くと、作中のまほ
ろには「そんな君だから、いいんだ」とか
言っただけの気がしますが、古野さん、今
回はインタビューに答えていただき、本
当にありがとうございます。

古野 こちらこそ。意外に楽しいもので
すね。ありがとうございます。

終章

古野まほろ。今や混沌とした現代本格探
偵小説の中において他者の追隨を許さず、
豪華絢爛にして清純簡素なその存在。

その方に今回、質疑応答を行うことがで
きたのは千年に一度の奇跡であり、望外の
喜びであります。多事多忙な中、貴重な時
間を割いて頂き、感謝の念に耐えません。

また、間に入って頂いた担当編集者様及
び、依頼時に対応して頂いた部長様、この
場を借りて御礼申し上げます。

それでは、淫祠邪教の徒であり、真理求
道の同志である観客の皆様方、新たなマ
ホランドでの悦楽的な日々を夢想しよう
ではありませんか。

しかし、質疑応答集にあつた通り、新た
なる遊技場設立には我ら信徒の微力も必要
となるかもしれません。淫祠邪教が国家宗
教となる為、布教活動を怠らず、信徒を増
やしていこうではありませんか。それこそ
が天帝に捧げる果物を腐らせない唯一の秘
訣なのですから。